



平成 30 年 5 月 12 日

各 位

会社名 株式会社 マルマエ
代表者名 代表取締役社長 前田 俊一
(コード番号: 6264 東証マザーズ)
問合せ先 取締役管理本部長 藤山 敏久
(TEL. 0996-64-2900)

業績予想の修正等に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 29 年 10 月 10 日の平成 29 年 8 月期決算発表時に開示した平成 30 年 8 月期（平成 29 年 9 月 1 日～平成 30 年 8 月 31 日）の業績予想を以下のとおり修正することとしましたので、お知らせいたします。

1. 平成 30 年 8 月期通期業績予想の修正（平成 29 年 9 月 1 日～平成 30 年 8 月 31 日）

(単位: 百万円)	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	4,000	1,000	980	668	56.08
今回修正予想(B)	4,520	1,260	1,240	870	73.04
増減額(B-A)	520	260	260	202	
増減率(%)	13.0	26.0	26.5	30.2	
(ご参考)前期実績 (平成 29 年 8 月期)	3,035	764	737	538	50.74

2. 修正の理由

売上高につきましては、生産力増強が進み半導体分野の受注が拡大したこと、FPD分野においても当初想定以上の受注が得られる見込みとなったことから増額修正いたします。損益面につきましては、当初想定していなかった出水事業所取得に伴う登録免許税の発生や設備投資の上乗せによる減価償却費等の費用増加があるものの、増収効果により営業利益と経常利益につきましては 260 百万円増加する見通しとなりました。また、当期純利益につきましては 202 百万円増加となる見通しです。

3. 中期事業計画の進捗について

当社は平成 30 年 8 月期を最終年度とする中期事業計画を進めており、目標として売上高 40 億円、営業利益 10 億円、配当性向 35%、期間中の東証一部上場などを掲げておりました。

売上高と営業利益については、上記記載のとおり発展的に達成できる見込みです。配当性向につきましては、業績予想の公表時には 35%で算定しておりましたが、当期純利益は上振れしながらも、市場が活況な中で設備投資に注力する必要があると判断し、当初の配当見通しである期末 10 円を据え置き、通期合計 20 円を維持する方針です。結果、配当性向の 35%は未達となる見込みです。また、期間中の東証一部上場は、社内体制強化の遅れから、本年の 8 月末日までには達成困難となりました。ただし、引き続き最短での一部指定を目標に取り組んでまいりますので皆様のご理解をお願いいたします。

以 上

(注)本資料に記載されている当社の通期の業績予想は、本資料の日付時点において入手可能な情報による判断及び仮定を前提にしており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合があります。